

福岡県ジェネリック医薬品流通実態調査の結果について (平成20年上半期分)

1 内容

平成20年度上半期(4月～9月分)に、福岡県内の医療機関及び保険薬局に販売された後発医薬品等の流通実態(市場シェア)について調査したもの

2 調査対象

- 福岡県医薬品卸業協会(8社)
- 福岡県ジェネリック医薬品販社協会(13社)
- 直販メーカー等(1社)
- その他(1社)

3 調査方法

厚生労働省の方法に準ずる

- 後発医薬品及び先発医薬品等(先発医薬品、局方品、漢方エキス剤等)で区分
- 数量:最小数量(1錠、1カプセル、1筒、1本等)を1単位として集計
- 金額:薬価で集計

4 結果

	平成19年度		平成20年度(上半期)	
	数量シェア	金額シェア	数量シェア	金額シェア
後発医薬品	19.0%	7.9%	23.7%	8.4%
内用薬	19.0%	7.8%	24.1%	8.6%
注射薬	22.3%	6.8%	25.1%	7.2%
外用薬	18.6%	10.8%	20.6%	10.5%
先発医薬品等	81.0%	92.1%	76.3%	91.6%

平成20年度上半期総販売額(薬価) : 161,431百万円

<参考(GEの市場シェア)>

厚生労働省調べ

	数量	金額
17年9月	16.8%	5.9%
19年9月	18.7%	6.4%

医薬工業協議会調べ

	数量	金額
16年度	16.8%	5.2%
17年度	17.1%	5.1%
18年度	16.9%	5.7%

- ・平成18年に国内に出荷された医療用医薬品は7,143,654百万円(薬事工業生産動態統計年報)である。このうち、福岡県内に出回った金額を4.61%(平成18年度の県民医療費/国民医療費の比)とすると、329,322百万円(一年分)が推計される。
- ・回答のあった金額は161,431百万円(半年分)であるから、今回の調査は、概ね県下の実態を反映していると思慮される。